

# 羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

教職を目指す学生・卒業生のために

# COMPASS

第 119 号 2017.4.22(土)発行

関西外国語大学  
教職教育センター

SCET+

## ご入学おめでとうございます！！

待ちに待った新年度を迎え、教職教育センターがある 6 号館にも学生の声に戻ってきたとともに、1 年生という新しい仲間もやってきました。平成 29 年度も教職教育センターからの羅針盤で情報を発信していきます。新入生のみなさんも教職課程についての質問等あれば、ぜひ教職教育センターに来てください。

### 教員採用選考対策「夜スペシャル」がスタートしました！

教職教育センター長 角野茂樹

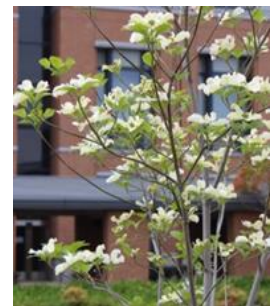
桜の花が散り、初夏の匂いとともに、中宮キャンパスのセントラルガーデン中央に「西洋ハナミズキ」が白い花を咲かせています。このハナミズキ(dog wood)の原産地は北米で、日本に入ってきたのは 1915 年。当時の東京市長の尾崎幸雄が米国ワシントン D.C へ桜を寄贈した際に、そのお返しとして日本に送られてきました。そのため、「返礼」の花言葉がつけられています。

そんな万物が芽吹く季節に、中宮キャンパスでは「夜スペ」（夜スペシャル）、学研都市キャンパスでは「サイスペ」（採用試験対策スペシャル）がスタートしました。4 回生を中心に、科目等履修生、3 回生が採用選考に向けて「教員になる」という熱い思いを持ち、教員になる「使命感」と「情熱」を傾けています。教育時事問題への対応、教職教養・英語力アップ、面接対応のブルーファイルづくりに取り組んでいます。今年は 60 名ぐらいの学生が集まり、そこへ留学帰国生が合流し始めており、今後 80 名程度になる模様です。

7 月には、全国各地で教員採用選考の一次が始まり、9 月の終わりまで選考が続きます。

まずは一次選考を突破し、二次選考に向けた真夏のサマースペシャルでも仲間とともに学び合いましょう。

この長丁場を乗り切るためにも、自ら、目標を立て、自立・自律した取組を進め、自己実現を果たしていくことを期待しています。



## 【先生方からのメッセージ】 教職をめざすみなさんへ

英語キャリア学部 教授 小谷 克則

近年の技術進歩は、医師より適正な診断を下す人工知能や臓器をつくり出す三次元プリンターを生み出すなど枚挙に暇がありません。こうした技術進歩は、「日進月歩」ではなく「秒進分歩」と言われるほどその速度を上げており、それに伴い、時代の変化も急速に進むようになりました。こうした時代の波を巧く掴めれば、その波を推進力として目的地により早く到達できますし、逆に、波を掴み損ねれば、目的地に辿り着くことはおろか、思いもよらない方向へ漂流することになりかねません。

教育界の波の一例には、教育 2020 年問題や、MOOC (Massive Online Open Education) などのオープンエデュケーションの台頭といった教育の基盤転換が挙げられます。教育 2020 年問題により日本の大学入学試験は合科目や総合型へと変わるようです。そうすると、英語教員にとって、世界史や地学といった周辺科目の知識や技術、さらにはその教授法も課題となり得ます。また、コンピュータによる受験形態の導入（教育 2020 年問題）やインターネットによる受講形態の普及（MOOC など）により教育の効率化が進むと、教員には新たな課題が課せられるでしょう。

こうした技術による効率化が進むほど必要とされるのは、人同士のより密接な対面であると考えられます。先日、そうした必要性を垣間見る機会がありました。MOOC の国際会議に参加する機会を得たのですが、1 週間の会議期間中、研究者たちはオンラインではなくオフラインで面と向かって活発な議論を交わしました。それも 7 時半の朝食から昼食、ティータイムを経て、19 時頃までです。つまり、この会議では「対面」での議論がそれほど重視されていたということであり、教育のデジタル化を進めるための会議においてアナログの重要性を再認識した、というわけですね。

みなさんには、本学の教職課程プログラムを通し、知識や技術はもちろん、多くの人と接して知見を深めていただきたいと思います。そして、先人が築き上げた教育の金字塔と自身で築き上げた将来を見渡すための展望塔から教育界に舞い込む様々な波を見渡し、その波を巧く推進力に変え目的に突き進んで頂きたいと思います。

### 清らかな再出発に感謝しつつ

英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース長 塚田 泰彦

この4月より国際的な研究学園都市であるつくば市からこの大阪・枚方の地に移り、新任地での再出発に胸を膨らませているところです。このところの天候は不順ですが、街角の桜の花の美しさや清らかさは年度はじめの気分を一新し、私の再出発を一心に後押ししてくれています。これまで教育学関連の研究組織での生活をいくつか経験し、その度に多くの学生と楽しい時間を過ごしてきましたが、本学の荘厳で美しい研究室から、登校する学生のみなさんの澁刺とした足取りを眺めていますと、着実にその歩みを自らの希望するキャリアへと結び付けてくれよう願わず

にはられません。そうしたみなさんの日常を少しでも支えられるよう、思案しているところです。

これまでも教員養成系の大学や組織に身を置いてきましたが、本学の教職関連の就職者数や就職率の高さには驚いています。小学校教員コースのスタッフの方々にくらか様子を伺い、熱心に手厚くみなさんを支えてこられた実際的一端を知ること、得心がいくと同時に感心もいたしました。学生のみなさんは、整えられた本学の就学のシステムと内容を信頼して学び、なによりも教育を受ける学習者一人ひとりに尽きない暖かいまなざしを注ぐことができるよう、心身の充実した教員を目標として欲しいと思います。

## 教職をめざすみなさんへ

英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース 教授 浦嶋敏之

「楽しい学校の条件ってなんですか？」と先生をめざしている学生さんに話をする機会があれば必ず尋ねてみます。いろんな答えが返ってきますが、必ずトップ3に入るのが、「仲のよい友だちがいること。」「勉強がわかること。」そして「信頼できる先生がいること。」です。先生をめざす多くの学生さんは、先生とのいい出会いがあり、それが志望動機にもなっているようです。

信頼できる先生とはどんな先生でしょうか。「勉強をわかるまでとことんつきあってくれた。」「なかまはずれになったとき、最後まで味方になってくれた。」「自分をコントロールできなくなった時、真剣に怒ってくれた。」等、そのエピソードは出会いの数だけあることでしょう。ただ、共通しているのは、「自分のことを本気で思ってくれた。」ということです。

みなさんには、子どもと本気で向き合う覚悟はありますか。また、先生になって子どもたちと何をしたいのでしょうか。

覚悟と目的意識をしっかり持つことが、夢への第一歩です。

心配はいりません。夢への思いをエネルギーに、仲間といっしょにそれぞれの持ち味にさらに磨きをかけることが、魅力ある先生への道です。本気をみせてください。

子どもたちは、待っています！

## 教職をめざすみなさんへ

外国語学部 教授 太田和男

「教職概論」の最初の講義で、履修していた学生に採用1年目の教員が1年間の研修を終えて書いた感想の一文を紹介しています。

わずかな教育実習で、子どもたちの純粋さ、無邪気さに感動して、何もかもわかったようなつもりで、輝かしい毎日を思い描いて教員になりました。しかし、実際に教師になってみると、何事も思いどおりにいかず、自分が情けなくなることもしばしばありました。天使のような子どもたち、と思っていたのに、いざ就職してみると、その子ども達のことと悩みつづける毎日でした。嫌なことやつらいことばかりで、何度も心の中で、教師になったことを後悔しました。でも、そ

んな子ども達が、何かちょっとでも、昨日とはちがう一面を見せて、成長が感じられると、やっぱりくじけずに頑張ってみようという気になり、問題を解決するために、あの手この手と、手をかえ品をかえ、挑戦してきました。結局、何もうまくいかなかったけれど、それでもやはり、子どもの成長する姿が、教師としての生き方を考えさせてくれたと思います。

学校の教師という仕事は、「児童生徒の成長を感じる時」の精神的報酬によって支えられ、粘り強い取組みを通して子ども達の成長を感じながら、自らも成長できる魅力的な職業だと思います。

教職を目ざすみなさん、教師という仕事は魅力的な職業です、「教師になりたい、絶対に教師になる」という強い意志をもち、あきらめず、最後まで頑張ってください。君たちの夢の実現に向け、関西外大の教職員の方は、精一杯支援していきます。

## 教育実習に臨むみなさんへ

外国語学部 准教授 川村 悟

2016年度から本学に着任した川村と申します。大学教員としての生活が始まり、ようやく1年が経ちました。教員としては新米の私ですが、自戒の意味を込めて最近考えていることをみなさんにお伝えします。

### 「万全の準備で臨む」

教壇に立つという行為は非常に緊張します。みなさんをおどかさわけではありませんが、初めて教壇に立つのであればなおさらです。先日、あるベテランの先生と会話をしたのですが、新学期初回の授業が近づくと、気が張ってくるのだそうです。あらためて、経験豊富な先生でもそうかと感じた次第です。

みなさんは教育実習の場で教壇に立ちます。普段は学生の立場で授業を受けることが多いかと思います。しかし、いったん教壇に立ったら、同じ教室でも教員の立場では目に見える風景がまったく違うことにきっと驚かれると思います。多くの生徒の視線が一人の先生に注がれるのです。

それでは、どうすれば緊張を和らげることができるのでしょうか？残念ながら私はその方法を知りません。だから、授業には常に万全の準備をして臨みたいと考えています。教育実習の場といえども、みなさん一人で行う訳ではありません。そこには学ぼうとする生徒がいるのです。「これ以上の準備は本当にできないのだろうか？」と常に考えながら、教育実習が始まるまでの期間を過ごして頂きたいと思います。みなさんの活躍を期待しています。

## 「続、教育実習生に期待する！」

短期大学部 教授 明石一朗

### 【教員力とは】

教員力とは、「子ども理解力」と「授業力」である。

「先生、授業うまいですね。」ということと、「先生は、私たちの気持ちをよくわかってくれて

いる」という子ども理解力だ。

子どもにとって「教え方がうまい」ということと、「私、先生のこと好きやねん」ということが信頼される教師の「物差し」である。子どもたちに、心の底からそう思われる時、「教師冥利」に尽きる仕事になる。

### 【若さは希望】

これからの若い教師は希望の星である。ベテランの教師に比べて教職経験は浅く、指導技術も拙いかもしれないが、何と言っても「若さ」と「時間」と「エネルギー」がある。日々努力して現場経験を重ねていけば自ずと指導技術は身に付いていく。大切なことは若いという「情熱」と「行動」である。

教育実習生には、「今は社会的な立場や財力は乏しいかもしれないが、みなさんには希望と若さと時間という宝物があります。希望と若さと時間、つまり、人間はやる気と人脈と年月さえあればなんだってできるもの。向き不向きよりも前向きが大事です。」と言いたい。

教師をめざす学生には、志を高く持って教育研究実践にあたってほしいと強く思う。

### 【子どもの素敵なおところが見える先生に!】

素敵な子どもと出会おうと思っているうちはだめである。そうではなくて、一人ひとりの子どもの素敵なおところが見える「先生」になってほしい。

もちろん、完璧な人間や完成された人間なんていない。しかし、誰でも必ず素敵なおところが一つや二つはあるものである。そのことに気づけたら、子どもたちとの素敵なお出会いが始まると思う。

教育は人間否定ではなく、人間肯定。学校も校庭（肯定）から始まるのである。

## 教職教育センターからのお知らせ

### ①小学校いきいき活動について

月に1回程度、「英語で遊ぼう」をテーマに元気いっぱいの小学生と楽しく「英語教室」を土曜日の午前中に開きます。現在、参加する学生を募集しています。

平野小学校:6月10日、7月8日、9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、  
1月13日、2月10日

山田小学校:5月20日、6月17日、9月16日、10月14日、11月25日、  
12月16日、1月20日、2月17日

### ②教員採用試験対策セミナー(春合宿)

5月20日(土)、21日(日)の2日間、学研都市キャンパスのセミナーハウスにおいて、教員採用試験の合格をめざす学生が一同に集まり、集中対策講座を行います。本学の先生方からの熱い指導に加え、本学卒業生の現職教員の方々からの指導も受けることができる絶好の機会です。教員採用試験を受験する学生は是非、参加してください。

申込期間:4月24日(月)~5月11日(木)

参加費 :2000円(科目等履修生は3000円)

申込場所:教職教育センター(中宮キャンパス)、学務課(学研都市キャンパス)

### ③教員養成特別講座について

教員を志す学生を対象に特別講座を実施します。教育現場や学校経営について大学の授業だけでは得られない貴重な内容を講演いただきます。講師は、現役の校長先生および教育委員会の担当者などの各スペシャリストの方を予定しています。

日時: 第1回「教職をめざすみなさんに求めること」

5月6日(土)坂本暢章(大阪府教育庁市町村教育室長)

第2回「新学習指導要領と授業」

5月13日(土) 榊田千佳(大阪府教育庁小中学校課参事)

第3回「特別支援教育について」

5月20日(土) 長谷川陽一(大阪府立難波支援学校長)

第4回「中学校現場の実際」

6月3日(土)山口勝也(東大阪市教育委員会小中一貫教育推進室参事)

全て13:30から15:00 6207教室で行います。

### ④海外教職インターンシップ説明会

高い教育水準と英語・フランス語のイメージ・プログラムで有名なカナダのバンクーバーで、早期英語教育と多文化教育についてのインターンシップと集中語学研修を受講することができます。

説明会日時 :5月17日(水) 12:30より 場所 6105教室

プログラム期間:8月中旬から3週間程度

主催 アークスリー・インターナショナル ※プログラム費用などの詳細は説明会で連絡します。

### 編集後記——教職教育センターより——

満開の時期が例年よりも遅くなりましたが、今年も素敵な桜を見ることができました。

その桜について驚きのニュースが話題となりました。現在、桜が消えるかもしれない危機に直面しているとのこと。

代表的な桜であるソメイヨシノは一般的に寿命が60年。姫路城でも、約千本ある桜の大半を占めるソメイヨシノは一斉に寿命を迎えつつあるとのことです。

その桜の命を守る仕事として「桜守」という庭師の仕事があるそうです。今、見られる桜もそのような方々の努力のたまものと思うと、見方が変わってきます。